

NPO法人総会報告～事業報告

第1号議案 2014年度事業報告及び決算書

1 組織の現況

(1) 会員（2015年5月31日現在）

・正会員 112団体・個人

（団体12、個人100）

・賛助会員 55団体・個人

（団体8、個人47）

1年間で、正会員が103から

112へ、賛助会員が49から

55へ増加した。

(2) 理事会

・理事（10名）

白石孝（理事長）、山本志都（副理事長）、

大原文香（副理事長）、岩淵健二、

大竹太上、上林陽治、竹信三恵子、

本多伸行、安田眞幸、山下弘之

・監事（2名）

玉城恵子、野村修一

2 会議の開催

(1) 2014年度定期総会

6月23日（月）午後6時30分から

神明いきいきプラザで開催。3月31日

現在の正会員数は93（団体9、個人8

4）、うち55名が出席（委任状含む）。

報告は2013年度事業報告、決算報告

（活動計算書）、監査報告。議案は201

4年度事業計画案及び事業予算案、新役

員の選任をすべて承認し、終了。

総会後は、特別シンポジウム（大内裕

和・竹信三恵子）で、正会員のほか賛助

会員などを含め37名が参加。

(2) 理事会

①第1回 4月7日（月）午後6時30分

から、開催。出席理事9名、監事2名。

事業報告に続き議題として、2014年

度総会の開催（事業報告、決算、監査、

事業計画、理事の追加などの議案を検

討）、レポート第11号の企画、大阪で

の交流集会&研究会開催の検討など

②第2回 3月14日（土）午後5時20

分から開催。出席理事7、監事2名。

事業報告に続き、議題として、2015

年度定期総会、社民党福島副党首による

総務省、厚労省公開ヒアリングの企画、

なくそう集会への取り組み、相談事例検

討、「ブラック自治体調査」～わがまち

のブラック度を測定の検討。

(3) 監査の実施 5月2日（金）

午後5時15分から監事2名、事務所で実施。

3 主な事業

(1) 講座

・5月28日（水）午後6時30分、神明

いきいきプラザ、「学校の非正規化」2

2人

・6月23日（月）午後7時、神明いきい

きプラザ、「全身〇活時代」37人

・7月11日（金）午後6時30分、事務

所、総務省通知緊急検討会、8人

・1月31日（土）午後3時30分、大阪

ASU-NET事務所、関西の訴訟の状

況 17人

・2月10日（火）午後6時、東京しごと

センター、ビデオ「ブラックバイトに負

けない」、竹信三恵子「ピケティを読む」、

上林陽治「2015年の官製ワーキングプア

運動」、36人

(2) なくそう集会

①東京での第6回集会実行委員会は、6月

4日（水）午後6時30分から、第2回

を7月2日（水）、第3回を8月19日

（火）、大塚の東京労働会館で開催。第6

回集会を8月30日（土）午前10時～

午後8時、文京区民センターで開催。午

前70人、午後130人、交流会34人

参加。また、10月2日（木）に反省会

を開催した。

②第2回の大塚集会については、6月13

日（金）午後6時30分から第1回実行

委、9月4日（水）午後6時30分から

第2回、10月21日（火）午後6時3

0分から第3回実行委を大阪市北区南森

町の「NPO働き方ASU-NET」で開催した。第2回集会を11月3日（月・祝）午前10時～午後8時、エル大阪で開催、午前103人、午後160人、交流会43人が参加。1月31日（土）午後5時から反省会および第3回集会の第1回実行委を開催した。

(3) 韓国調査第2回

7月7日～9日、山下理事、白石理事長。ソウル市首席政策秘書官ソ・ワンジン、労働補佐官チョウ・ソンジュ、労働社会研究所研究員キム・ジョンジン、参与連帯運営委員会代表ハン・ソンヒさんヒアリング

(4) 沖縄非正規集會

8月31日（日）午後2時から沖縄大学で開催。90余名が参加。

(5) 大学非正規「なんなん集會」

15年2月28日（土）午後1時30分～5時、阪大豊中キャンパスで集會、60名参加、5時30分～6時15分阪急石橋駅周辺をデモ行進

(6) 研究会レポートの発行

第11号を8月、第12号を10月、第13号を15年1月に発行し、発送。

(7) ブックレットを発行

「総務省7.4新通知」に関するブックレットを8月30日に発行（千部）

(8) 相談業務

A県臨時職員労災事故、B市非常勤職員の処遇改善、C区非常勤職員雇い止め ほか

(9) マスコミ、議員、研究者

- ・NHK、西日本新聞、大阪読売新聞、東京新聞、朝日新聞、共同通信など多数
- ・都議会共産党都議団、社民党本部その他

(10) ボランティアスタッフ

会員の橋本さんが、原則毎週月曜日の午後、作業ボランティア。会員管理、会計補佐、資料整理など中心の作業。

(11) 社民党福島みずほ参議院議員の設定で総務省・厚労省担当者との意見交換会を実施
15年4月13日（月）午前、参議院議員会館で実施した。（詳細は総会当日配布、ホームページにも7月上旬掲載予定）

*決算書は別紙に印刷

第2号議案 2015年度事業計画案及び予算案

1 2015年度の重点事業

(1) 情報の収集（訴訟、労働委員会、国・自治体からの文書、統計、労組活動、報道資料など）

(2) 情報の発信、提供

① ホームページの充実（日々更新、資料欄の充実化など）

② 研究会レポート（年4回の定期発行、投稿の拡大など）

③ 会員向け資料提供サービス

④ 出版物発行～ブックレットシリーズNO.2「ソウル市の非正規労働者政策」を発行

⑤ 取材協力など

(3) 調査・研究

① ソウル市正規職転換調査第3回（6月25～26日予定）

② 自治体臨時・非常勤職員のワークルールチェック運動（ブラック自治体・優良自治体運動）

その他

(4) 講座開催

① 総会時の意見交換会（6月22日開催）

② その他

(5) なくそう集會への参加

① 第7回東京集會（9月13日開催予定）

② 第3回大阪集會（11月1日開催予定）

(6) 関係諸団体との交流、連携を深める

反貧困ネットワーク、非正規労働者の権利実現全国会議など

(7) 研修講師派遣

(8) その他

2 組織運営

(1) 6月22日に、2015年度定期総会を開催する

(2) 理事会を年3～4回程度開催する

(3) 会員の拡大を進める

(4) 財政基盤を強化する

*予算書は別紙に印刷

パク・ウォンスンソウル市長の労働政策レポートメモ

感染ウィルスのマーズで、主に日本や中国からの観光客が激減した6月24～27日、研究会として上林、竹信、山下3理事と白石が参加、3回目のソウル市調査を実施した。訪問、調査先は

・6月25日（木）
AM 韓国労働社会研究所キム・ジョンジン研究員

PM ソウル市労働政策課

・6月26日（金）

AM ソウル市委託の労働権益センター

PM 非正規労働センター

日韓・韓日非正規労働ミニフォーラム（労働社会研究所）

特に大きな成果を得たのが、ソウル市労働政策課とソウル市が非正規労働センターに委託して運営している労働権益センターの訪問、ヒアリングだった。その前に、ソウル市の非正規労働者対策の推進をサポートしている韓国労働社会研究所のキム・ジョンジン研究員からは、パク・ウォンスン市長1期目のこの政策の総括的な内容を聞くことが出来た。この2点を中心に、研究会訪問団として、年内にレポートを発表する予定でいる。

(1) ソウル市の非正規労働者政策

2015年3月18日にソウル市経済振興本部（労働政策課）が発表した『『働く人の権利を尊重し、公正に待遇するソウル市』創出のためのソウル市労働政策基本政策』で、パク・ウォンスン市長1期目の総括と2期目の方針が総合的に示されている。そこに「数字で見る5年間の核心指標」という記述がある。

① 模範的な使用者としての役割を確立する

ア) 雇用の質の改善

- ・非正規職7,322人を正規職転換
- ・社会福祉施設従事者の賃金を持続的に引き上げた～対公務員比95%水準に
- ・女性福祉施設従事者の賃金水準改善～社会福祉施設従事者比100%水準に
- ・ソウル市の工事現場労働環境改善指導～

- 460か所
- ・直営清掃工場労働者の休憩環境改善～340か所
- ・ソウル市の全民間委託事業者500か所の労務診断を完了
- ・公共調達中小事業者労務指導～590か所
- イ) 共生と協力の労使関係を構築
- ・地域労使民政協議会の本会議開催～14回
- ・ソウル市労務管理担当者への労務教育～250回実施
- ・公正な職場を創造する支援事業～40件が応募
- ・ソウル労働権益センター1か所を開設～労働福祉センター4か所との連携運営

(2) ソウル市全体の脆弱労働者政策

① 勤労者権益保護

ア) 脆弱階層保護

- ・移動する女性勤労者シェルター～25か所で運営
- ・アルバイト青年と事業主教育～700,000人
- ・「人生二毛作」支援センター労働教育～8,000回実施
- ・障がい者のリハビリ施設の機能充実支援～253か所
- ・外国人労働者医療支援～10,000人
- ・社会保険加入者増の企業への特別支援～625億ウォン支援

イ) 労働基本権保障基盤構築

- ・脆弱階層業種別労働実態調査～5,000人実施
- ・小規模事業所労働実態モニタリング～20,000か所で実施
- ・対象別あつらえ型労働教育～125,274人受講
- ・市民名誉労働オンブズマンによる無料相談～13,000件
- ・ソウル型労働者保護ガイドライン～35,000部作成・配布

以上のような内容が現状分析、計画のあらまし、振り返り、今後の推進計画など網羅的に記載されている。ヒアリングなどを元にソウル市労働政策の全容を後日報告したい。

（白石 孝）

＜なくそう！官製ワーキングプア・反貧困
第3回・大阪集会＞

- ◆日時 11月1日（日）午前10時～午後4時40分
*その後交流会（別料金、要予約）
- ◆会場 エルおおさか（天満橋下車）
- ◆内容
 - ・分科会 10:00～12:00（受付9:40）①入門
②③運動の報告と交流（2分散会） ④議員・市民向け講座（地公法、訴訟、実態など）
⑤混合組合の団結権、少数派組合の闘いに学ぶ
 - ・全体会 13:00～16:40 ①闘いの現場から
②西谷敏名誉教授のミニ講座 ③みんなで点検、みんなで取り組もう（総務省通知から1年、自治体ワークルールチェック、労働安全衛生、就業規則など） ・昼休みに川柳ミニ講座
- ◆参加費 500円
- ◆主催 実行委員会（大阪労働者弁護団、民主法律協会、非正規労働者の権利実現全国会議、NPO法人労働と人権サポートセンター大阪、NPO法人官製ワーキングプア研究会）

＜本の紹介＞

- 『椅子取りゲーム～韓国サンヨン自動車労働争議の真実』孔枝泳（コン・ジョン）（加納健次、金松伊訳）、新幹社、1,500円＋税。2009年から12年までの整理解雇とストライキの過程で22人の労働者と家族が命を奪われた労働争議について、『トガニ』の著者が記した初めてのルポルタージュ。
- 『日本の保育労働者～せめぎあう処遇改善と専門性』垣内国光、川村雅則、小尾晴美ほか、ひとなる書房、2,800円＋税。「政策課題としての保育労働研究の意義」というトータルな著述もあるが、私としては北海学園大川村雅則

准教授の「北海道保育者調査にみる現代の保育労働者状態」を皆さんには読んでいただきたい。この後に紹介する非正規保育者と重なり合う内容で、著者は北海道の様々な分野の非正規労働者調査を積み重ね、そのフィールドから確かなメッセージを発信している。

●『私たち非正規保育者です～東京の公立保育園非正規職員調査から見えてきたもの』非正規保育労働者実態調査委員会編著（垣内国光・高橋光幸・小尾晴美監修）、かもがわ出版、1,200円＋税。東京都内の62市区町村へのアンケート調査（31自治体が回答）と、3,632人の保育園非正規労働者（保育、看護、調理、用務）へのアンケート調査を元に公立保育園の実態を明らかにした。

●『自治体臨時・非常勤等職員の手引き～2015年改訂版』全日本自治団体労働組合（自治労）、500円＋税。2012年版以降の総務省通知や民間労働法制改定をふまえての改定版。非正規公務員当事者だけでなく、自治体議員やこの課題に関心はあるものの、難解な法制度に直面している方への格好の入門書。一般書店では販売していないので、03-3263-2023自治労出版センターに問い合わせを。

●『北海道自治研究』No. 558, 2015年7月、北海道地方自治研究所、500円。白石孝の講演と川村雅則＋白石対談の記録。問い合わせは、011-747-4666同研究所へ。

●『民間労働者の整理解雇と公務員労働者の分限免職』大阪労働者弁護団、耕文社、1,500円＋税。法制度の解説と判例紹介で、分かりやすく実践的に編集されている。『活用しよう、改正労働契約法第2版』に続く、大阪労弁の労作。06-6364-8620労弁へ。

＜編集後記＞

本15号の発行も7月から2か月遅れ、理事長が企画も編集も実務のほとんどを担当という組織としての未熟さに起因している。ようやく9月の理事会で運営体制の集団化を提案するつもりでいる。いよいよ自治体調査に踏み切り、年内

には調査結果を発表したい。相談は相変わらず続く、「ようやく相談先を見つけた」という声を聞く。もっと周知に力を入れねばと痛感。

（白）

「官製ワーキングプア研究会レポート」 2015年9月・第15号

発行：特定非営利活動法人 官製ワーキングプア研究会

〒160-0008 新宿区三栄町16-4 芝本マンション403号（JR・東京メトロ四ツ谷駅）

携帯電話：090-2302-4908/FAX：03（3891）9381/電話：03（5269）0943

Eメールアドレス：kanseiwakingupua1950@yahoo.co.jp

ホームページアドレス：http://kwpk.web.fc2.com/

定価 1部200円